

木のおもちゃのメンテナンスについて

木製のおもちゃは、上手に付き合うことで10年以上使っていただくこともできます。使いこまれたおもちゃが持つ味は、そのおもちゃが大事に扱われてきた証でもあります。シンプルな構造のものが多く、壊れた場合でも、その多くは修理することが可能です。下記に修理方法を記しますので、ご参考のうえ、ご愛用ください。

■保管

木は生きています。温度や湿度が極端に高かったり低かったりすると、反ったり、ヒビ割れを起こしてしまう場合もあります。保管時は直射日光を避け、空調の風が直接当たらないところで保管する、湿度の下がる真冬は加湿器で湿度調整をするなどをオススメします。

■破損

木工用のボンドを使い修理をするのが簡単です。木工用ボンドは、木や紙、布、竹などに使え、乾くと透明になります。ボンドをたくさんつけると乾きが悪くなるので、つけすぎないのが、コツです。なお、接着部からはみ出したボンドは、ふき取るとキレイに仕上がります。

★フランクリン社 タイトボンド

・ コニシ 木工用ボンド など



■汚れ

簡単な汚れは、消しゴムでも消えます。気になる汚れが落ちない時は、固く絞った柔らかい布で水ぶきしてください。その後、陰干しして十分に乾かしてください。

■ささくれなど

ささくれなどは、紙やすりで磨くと綺麗になります。紙やすりは、度数がいくつかありますが、＃320くらいの細かいものを使用すると美しく仕上がります。

例えば・・・

・ 耐水研磨紙 (FUJI STAR (三共理化学)) など。 (1枚100円以下で購入可)

■塗装

無垢の製品は、お手入れ後に塗装をすると、より長持ちします。

★キヌカ (お米から作られている天然塗料)

・ エゴマ油、アマニ油など (乾性油 : 酸素と反応して固化する油)



■おもちゃ病院

全国的なボランティア活動である「おもちゃ病院」に持ち込むとおもちゃドクターが修理をしてくれます (特別な部品が必要な場合のみ要実費)。おもちゃドクターは、機械や電気系を得意分野とする方が多いですが、一度診てもらっても良いかもしれません。



日本おもちゃ病院協会

HP

■修理方法に迷ったら・・・

各おもちゃメーカーにお問い合わせください。おもちゃの取扱説明書は捨てずに保管しておきましょう。